

運送業界におけるAI活用事例

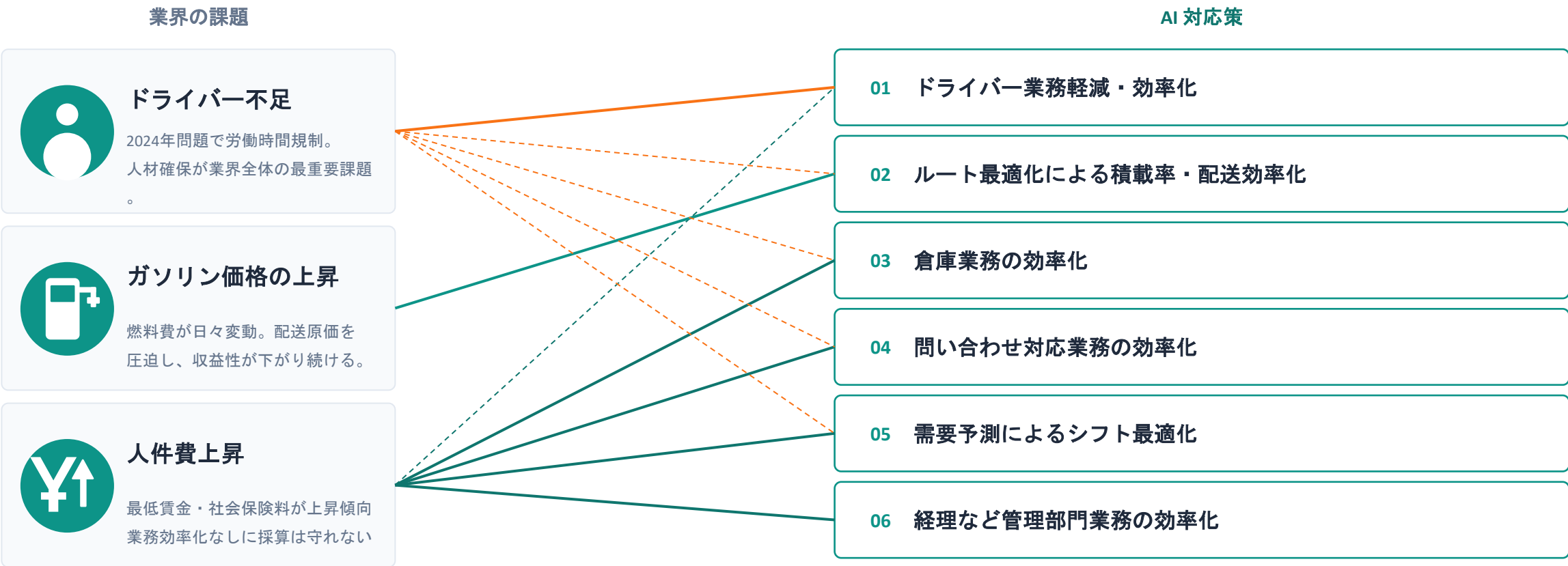
Use Cases



運送業界の課題と AI 対応策



業界共通の3つの課題に、6つの対応策で多面的なアプローチ



AI 導入効果（試算）



中小運送会社を想定した、業界平均値ベースの試算です。

※ 人件費単価3,500円/h（社会保険・諸経費込み）で算出。業界統計に基づく目安、貴社の実情に応じて個別試算します

対応策・業務カテゴリ	現状の負担	AI 導入後	年間効果（人件費換算）
01 ドライバー業務軽減 音声・スマホ入力で記録時間を80%短縮	100h/月	20h/月	約 340万円
02 ルート最適化 計画作業を75%短縮、燃費・走行距離も改善	80h/月（1名分）	20h/月	約 250万円
03 倉庫業務効率化 OCR入力＋画像認識で手作業を約65%削減	180h/月	60h/月	約 500万円
04 問い合わせ対応 AIチャットボット24h対応、問合せ件数の80%を自動化	200h/月	60h/月	約 590万円
05 シフト最適化 需要予測で過不足解消、残業・遊休を月45h削減	60h/月	15h/月	約 190万円
06 管理部門業務 OCR＋自動仕訳で経理工数を75%削減	120h/月	30h/月	約 380万円
合計効果			約 2,250万円 / 年

運送業務における AI 活用の6領域



現場業務からバックオフィスまで、運送業の主要業務すべてに AI 活用の余地があります。



01

ドライバー業務軽減

音声入力日報・運転スコア
点呼業務支援・教育動画自動生成



02

ルート最適化

AI配送ルート提案・燃費最適化
属人化していた配車計画を自動化



03

倉庫業務効率化

入出庫記録自動化・在庫予測
ピッキング最適化・棚卸自動化



04

問い合わせ対応

配送状況問い合わせ自動応答
多言語チャットボット・FAQ対応



05

シフト最適化

配送量予測・繁忙期人員計画
車両稼働率の最適化・採算管理



06

管理部門業務

伝票OCR・運送状自動生成
請求書作成・データ入力自動化

貴社の業務フローに合わせて、優先度の高い領域から個別に設計します。

運送業界における AI 活用の最前線



業界全体が変わりつつあります。早く始めた企業が、5年後の競争を制します。

佐川急便

AI で配送伝票の入力業務を自動化

月 8,400時間 の作業工数削減

手書き文字を AI-OCR で読み取り自動入力。

認識精度 99.995%以上を達成。
出典: SGホールディングス 公式発表

ヤマト運輸

AI 配車システムで配送業務量を予測

CO2 排出量 最大 25% 削減

ビッグデータを AI で分析し配車計画を自動生成。

車両走行距離を短縮し、人手不足にも対応。
出典: ヤマトホールディングス 公式発表

MOTOMURA(中小規模)

AI 配車ルート最適化で計画作業を短縮

配車計画作業を 90%以上 削減

従来 4人がかりで1日かけていた配車計画を、

「Loogia」導入により数分で完了。
出典: オプティマインド導入事例

菱木運送(中小規模)

AI 点呼ロボットで管理業務を効率化

運行管理者の負担を軽減

ドライバーの健康状態・アルコールチェック等を

AI ロボットが代替。中小企業で活用。
出典: 菱木運送 公式発表

貴社の規模・予算に合わせた個社別オーダーメイド開発で、これらの効果を実現します。